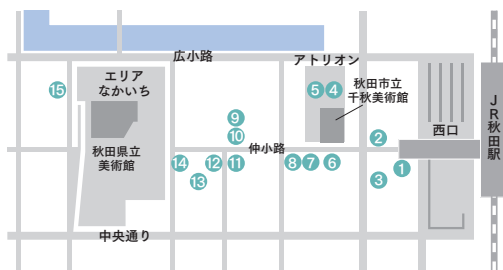


仲小路商店街

お得な半券サービス

秋田県立美術館と千秋美術館をつなぐ仲小路商店街。どちらかの美術館で展覧会を鑑賞し、半券(両館のパスポートも可)を対象店舗で提示すると、各種サービスを受けられます。「アートな街」をお得にお楽しみください。



	店舗名	サービス内容
1	プリモカワカミ (フォンテAKITA1階)	フォンテポイント2倍
2	無限堂 秋田駅前店	お食事の方にワンドリンクサービス
3	カフェラドゥ café La Doux (クロッセ秋田2階)	食事後のワンドリンクサービス
4	秋田県産品プラザ	5%割引(一部対象外)
5	札幌かに本家 秋田店	お食事の方5%割引 (現金のお支払で)

	店舗名	サービス内容
6	ブランジエノ アキタ Branzi-no Akita	お食事の方にデザートサービス
7	そば処 四季	飲食代5%割引
8	レモンの部屋	5%割引(一部対象外)
9	ティールーム陶	100円引き(平日ランチは除く)
10	食器のさかいだ	5%割引(一部対象外)
11	Kコレクション&レガロ	ポイント2倍サービス
12	仲小路 コーヒー&ワイン	1,000円以上の飲食で5%割引
13	親鶏らぁ麺 いし川	トッピング1品サービス
14	川口呉服	5%割引(サービス品除く)
15	ダイニングレストラン ザ・キャッスル (秋田キャッスルホテル1階)	ご利用金額の5%割引

秋田市立千秋美術館

開館時間 ● 午前10時～午後6時
(入館は午後5時30分まで)

観覧料 ● 常設展 一般310円
大学生210円
高校生以下無料

休館日 ● 9月28日(月)～10月16日(金)
12月21日(月)～2027年1月3日(日)
〒010-0001 秋田市中通二丁目3-8(アトリオン内)
TEL.018-836-7860 FAX.018-836-7862



秋田県立美術館

開館時間 ● 午前10時～午後6時
(入館は午後5時30分まで)

観覧料 ● 展覧会ごとに異なる

休館日 ● 8月1日(土)～3日(月)、9月28日(月)
～30日(水)、10月1日(木)、2日(金)、
11月30日(月)～12月4日(金)

〒010-0001 秋田市中通一丁目4-2(エリアなかいち内)
TEL.018-853-8686 FAX.018-836-0877



編集 ● 秋田市artlineプロジェクト実行委員会

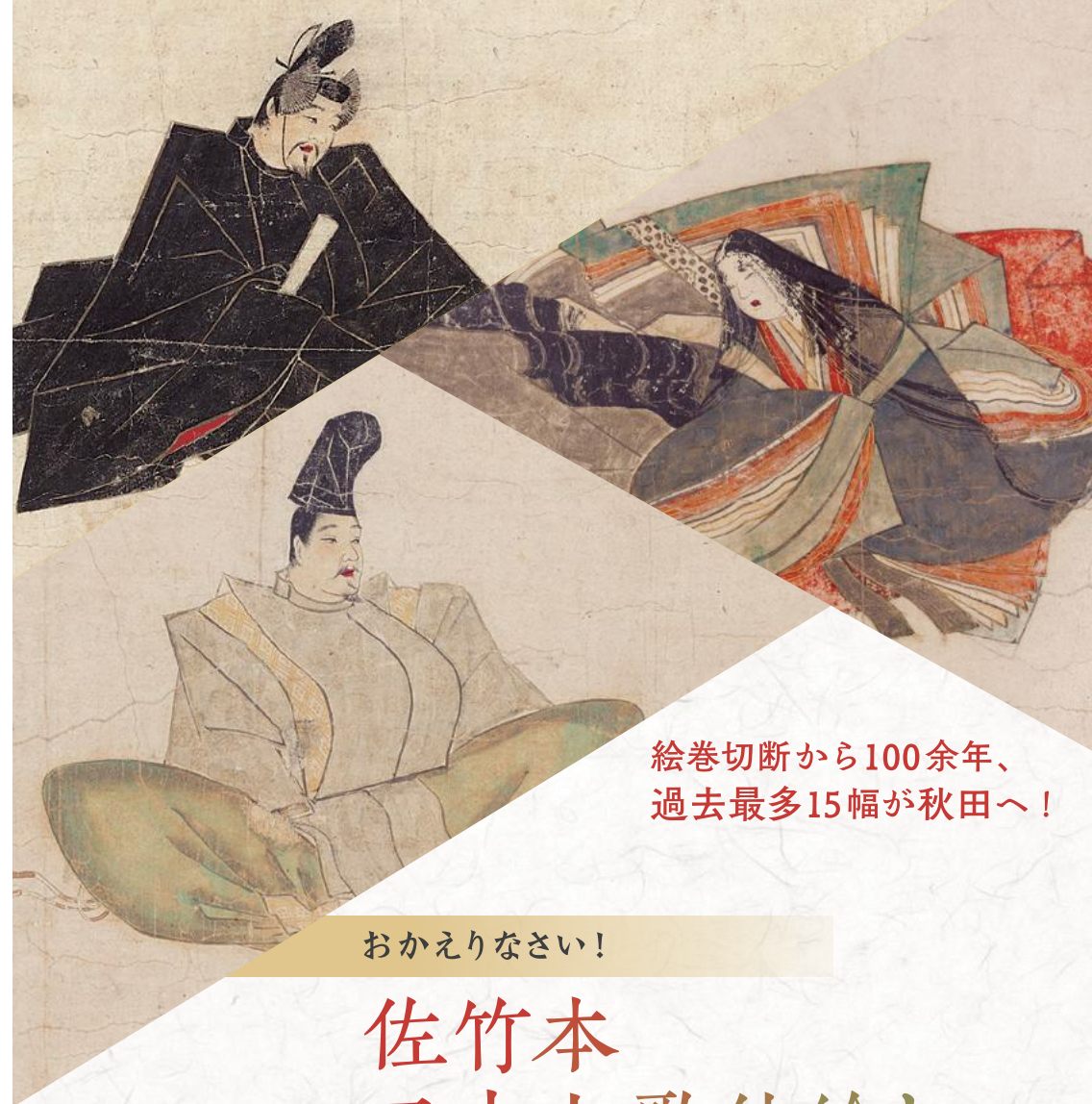
秋田市立千秋美術館

秋田県立美術館指定管理者(公財)平野政吉美術財団

仲小路振興会

発行 ● 2026年8月

表紙: 上から「佐竹本三十六歌仙絵 壬生忠兼」東京国立博物館蔵【後期展示】Image:TNM
Image Archives/「佐竹本三十六歌仙絵 小大君」大和文庫蔵【中期展示】/「佐竹本三十六歌仙
絵 坂上是則」文化庁蔵【中期展示】3点とも、重要文化財、詞 伝後京極良経筆、絵 伝藤原信実筆、鎌
倉時代(13世紀)、部分



絵巻切断から100余年、
過去最多15幅が秋田へ!

おかえりなさい!

佐竹本 三十六歌仙絵と ゆかりの名品

News from the Museums of Art

artline vol.43

特別展 超写実 ホキ美術館名品展

【会 期】 2026年8月4日(火)－9月27日(日) 会期中無休

【会 場】 秋田県立美術館 1F県民ギャラリー、3Fギャラリー

【観 覧 料】 一般1,300(1,000)円、大学生1,000(700)円、60歳以上おとな割1,000円、高校生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳(ミライロID可)を持参の方と付添1名は500円引き(秋田県立美術館で当日券購入の場合のみ)。秋田市立千秋美術館の観覧券(半券可)ご提示の方は団体料金。

【主 催】 ホキ美術館名品展実行委員会(秋田県、ABS秋田放送、公益財団法人平野政吉美術財団)



三重野慶《言葉にする前のそのまゝ》

2017年 油彩 ホキ美術館蔵

等身大の女性像を多く手がけている三重野が、「人物がまるでそこにいるかのように描きたい」と約1年半の期間をかけて制作した作品。川の中に横たわる女性の濡れた肌や髪、服の細密な描写、清らかな川のきらめく表現は、画面の中にもう一つの世界を生み出しているようです。表面をなぞるのではなく対象を理解して本質を描くことを意識しているという三重野の思いが、観る人に驚きと感動を与えます。



島村信之《日差し》

2009年 油彩 ホキ美術館蔵

2010年、世界ではじめての写実絵画専門の美術館としてオープンしたホキ美術館。全国はもとより、海外からも多くのファンが訪れる同館のコレクションから厳選した作品を展示します。

森本草介や野田弘志ら日本を代表する写実絵画作家の作品をはじめ島村信之、小尾修などの同館を代表する所蔵作家、塩谷亮、三重野慶など中堅若手作家による渾身の力作64点を紹介。絵画でありながら、まるで実物を見ているような、あるいは実物以上にリアリティを感じる驚きの写実絵画の世界をお楽しみください。

関連イベント

出品作家によるギャラリートーク

日時 ● 9月19日(土)

1回目11:00～ 2回目14:00～

講師 ● 小尾修 氏(画家、武蔵野美術大学教授)

会場 ● 1F県民ギャラリー

※観覧料または年間パスポートをご持参ください。

※申し込みは不要です。

学芸員によるギャラリートーク

日時 ● 8月16日(日)、9月5日(土)

各日とも14:00～14:30

会場 ● 1Fレクチャールーム

定員 ● 30名

※お電話での事前申し込みが必要です。

特別展 ごんぎつね40周年記念展
～黒井健 絵本原画の世界～

【会 期】 2026年10月3日(土)－11月29日(日) 会期中無休

【会 場】 秋田県立美術館 3Fギャラリー

【観 覧 料】 一般1,000(800)円、高・大学生800円(600円)、中学生以下無料

※()内は前売、20名以上の団体料金

※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳(ミライロID可)を持参の方と付添1名は半額(秋田県立美術館で当日券購入の場合のみ)。秋田市立千秋美術館の観覧券(半券可)ご提示の方は団体料金。

【主 催】 ごんぎつね40周年記念展実行委員会(AAB秋田朝日放送、秋田県、公益財団法人平野政吉美術財団)



『ごんぎつね』より ©Ken Kuroi

新美南吉が原作の『ごんぎつね』は、これまで様々な画家が挿絵を描いてきましたが、黒井の挿絵による偕成社版の本作はとりわけ多くの人の心に残っているのではないのでしょうか。村人の兵十と彼へのふとしたいたずらを後悔し償おうとする狐のごんの物語は、もの悲しくも印象的な結末を覚えている人もいでしょう。挿絵を頼まれるにあたり、どう描いたらいいかわからなかったという黒井は、作者の新美のふるさとであり作品の舞台となった愛知県半田市を訪れ、その取材で感じた思いを絵にしたといいます。穏やかな自然と素朴なごんたちの描写が、長年にわたり読み継がれている物語を情感豊かに彩っています。



『ころわんはおにいちちゃん』より ©Ken Kuroi

新潟県出身の絵本画家・黒井健の代表作である『ごんぎつね』(新美南吉・作)は、2026年で出版から40周年を迎えます。黒井は1979年に初めての絵本『あめってあめ』(矢崎節夫・作)を出版して以降、『ごんぎつね』『手ぶくろを買いに』(新美南吉・作)、『猫の事務所』(宮沢賢治・作)、『ころわん』シリーズ(間所ひさこ・作)など300冊以上の児童文学や絵本の挿絵を描き続けてきました。1986年に出版した『ごんぎつね』では、原作である新美南吉の世界を情感豊かに描きあげ、この絵本を手がけたことが、「児童文学に描く」というその後の画業の方向性を決定づけたと語っています。

本展では、『ごんぎつね』をはじめとした絵本原画や画業初期のイラストレーター時代に手がけたカットなどにより、子どもだけでなく大人の心もやさしく包み込む黒井の絵本の世界を紹介します。

関連イベント

黒井健記念講演会『『ごんぎつね』との出会い』

日時 ● 10月3日(土)13:30～15:00

講師 ● 黒井健 氏

会場 ● 1Fレクチャールーム

※観覧料または年間パスポートをご持参ください。

※お電話での事前申し込みが必要です。

黒井健サイン会

日時 ● 10月3日(土)15:30～

会場 ● 1Fレクチャールーム

定員 ● 50名

※当館ミュージアムショップ(2F)にて絵本を購入

された方に、先着順で整理券を配布します。

※サインはお一人様につき1冊に限ります。

佐竹本 三十六歌仙絵と ゆかりの名品

おかえりなさい！

〔会期〕
2026年8月1日(土) - 9月23日(水・祝)

前期:8月1日(土)～16日(日)／中期:8月18日(火)～9月6日(日)／後期:9月8日(火)～23日(水・祝)
※8月17日(月)、9月7日(月)は展示替え作業のため観覧できません。

〔観覧料〕 一般1,500円(1,200円)、大学生1,000円(800円)、高校生以下は無料
※()内は20名以上の団体、障がい者割引、リピーター割引(本展半券のご提示が必要、他の割引と併用は不可)、秋田県立美術館および秋田市立佐竹史料館との相互割引料金。くろりん周遊バスで観覧の場合、一般1,190円、大学生790円

〔主催〕 佐竹本三十六歌仙絵展実行委員会(秋田市立千秋美術館、秋田魁新報社)

〔特別協力〕 国立文化財機構文化財活用センター、東京国立博物館、京都国立博物館
※本展は令和8年度国立文化財機構所蔵品貸与促進事業の支援を受けています



重要文化財「佐竹本三十六歌仙絵 小大君」
詞 伝後京極良経筆、絵 伝藤原信実筆、鎌倉時代(13世紀)、大和文華館蔵【中期展示】

「三十六歌仙」とは？

平安時代の歌人・学者の藤原公任によって選ばれた、優れた歌詠み36人のこと。小野小町、在原業平など、飛鳥時代から平安時代に活躍した歌人が挙げられています。

「佐竹本」とは？

三十六歌仙を上下2巻の各巻に18人ずつ描いた絵巻物で、現存最古の三十六歌仙絵とされています。江戸時代には佐竹家に所蔵されていたことから、「佐竹本」と呼ばれるようになりました。大正6年(1917)の売立で佐竹家を離れ、さらに大正8年(1919)には、絵巻のままでは高額で単独での買い手が見つからないことから、それぞれの歌仙に分割され、各所有者のもとで大切に受け継がれていきました。

秋田市立佐竹史料館で「三十六歌仙絵展」と同時開催

企画展 佐竹氏の名宝、雄大なる歴史を想う～武と雅～

〔会期〕
2026年8月1日(土) - 9月23日(水・祝)
※会期中、8月26日(水)、27日(木)は展示替えのため休館

〔会場〕 秋田市立佐竹史料館 企画展示室(秋田市千秋公園1-4)

〔観覧料〕 一般1,200円、団体960円(20名以上)、高校生以下無料

〔主催〕 秋田市立佐竹史料館



令和7年10月にリニューアルオープンした佐竹史料館。現在の秋田市の礎を築いた「佐竹氏」の歴史をテーマに、初めてとなる企画展を開催します。

佐竹氏は清和源氏の流れをくむ名門であり、変容する時代を生き抜いてきたその長い歴史の中には、戦いを繰り広げた「武」の側面と、大切に受け継がれてきた「美」の側面があります。その両面を伝える数々の名宝から、佐竹氏の雄大なる歴史をご紹介します。



「紫糸素懸威黒羅紗包二枚胴具足」(佐竹義峯所用)
秋田市立佐竹史料館寄託

学芸員リレーコラム

仲小路でアートを探そう(第25回)

今年も広小路側、大手門の堀のハスが見頃を迎えています。さて、この夏は仲小路からお堀も越えて千秋公園内にある佐竹史料館へ足をのばしてみませんか？というのも、本号で紹介したとおり、8月1日から9月23日までの会期で千秋美術館では「おかえりなさい！ 佐竹本三十六歌仙絵とゆかりの名品」を、佐竹史料館では「佐竹氏の名宝、雄大なる歴史を想う～武と雅～」を開催します。同時開催の2館を巡れば、これまで以上に佐竹家の歴史やゆかりの品々に興味をもついただけること間違いなし！会期中には展示室内にてクイズラリーを実施し、両館で全問正解した方にはプレゼントも用意していますので、是非挑戦してください。(千秋美術館・村田)

昨年の大手門堀の蓮

展覧会のみどころ

◎「佐竹本」の魅力

繊細な線で各歌仙の表情や衣装を描き分ける描写力はみどころの一つ。それぞれの所有者たちによる、趣向を凝らした表装にもぜひご注目ください。

◎佐竹本模本の世界

江戸時代後半、日本各地の古物調査や御所造営が行われるなかで、古典図像が重要な意味を持つようになり、この時期多くの佐竹本の模本が作られました。今回は、3件の佐竹本模本を同時に展示し、近世における佐竹本図像の展開についても考えます。

◎秋田蘭画やゆかりの名品を一堂に公開

秋田藩士・小田野直武および8代藩主佐竹義敦(号 曙山)による、当館所蔵の「秋田蘭画」に加え、大正6年(1917)の売立目録に掲載されていた重要文化財・雪村周継「風濤図」(野村美術館蔵)など、佐竹家ゆかりの名品たちを展示します。

関連イベント

呈茶席

日時 ● 8月29日(土)茶道表千家同門会
9月13日(日)茶道裏千家淡交会
各日とも午後1時から3時まで

会場 ● 千秋美術館1階ロビー

茶券 ● 500円(お抹茶と季節のお菓子)

相互割引

展覧会期間中
千秋美術館⇄佐竹史料館
お互いの企画展チケット持参で
相互割引を実施！※他の割引との併用不可

「佐竹本三十六歌仙絵巻(模本)」下巻(小野小町)
谷文晁 画、明忠 書、江戸時代後期(1800年頃)
齋田記念館蔵【通期展示・場面替え】



重要文化財「佐竹本三十六歌仙絵 源順」(部分)
詞 伝後京極良経筆、絵 伝藤原信実筆、鎌倉時代(13世紀)
サントリー美術館蔵【後期展示】



重要文化財「佐竹本三十六歌仙絵 板上是則」
詞 伝後京極良経筆、絵 伝藤原信実筆、鎌倉時代(13世紀)
文化庁蔵【中期展示】



スウェーデンのうつわ
グスタフスベリのある暮らし

〔会期〕 2026年10月17日(土) - 12月20日(日) 会期中無休

〔観覧料〕 一般1,300(1,100)円、大学生800(640)円、高校生以下無料
※()内は20名以上の団体、前売、障がい者割引、および秋田県立美術館との相互割引料金
※くろりん周遊バスで観覧の場合、一般990円、大学生590円

〔主催〕 秋田市立千秋美術館 ABS秋田放送 〔特別協力〕 スウェーデン国立美術館

日本初、「グスタフスベリ」に注目した展覧会。 スウェーデン国立美術館のコレクションから厳選した作品が一堂に！

スウェーデンのデザイン史において重要な役割を果たしてきたグスタフスベリ製陶所。1825年の設立以来、個性豊かなデザイナーたちによって、暮らしを彩る数々のテーブルウェアが生み出されました。

本展は、グスタフスベリを代表するデザイナー、ヴィルヘルム・コーゲ、スティグ・リンドベリ、リサ・ラーソン、カーリン・ビョルクヴィストの4人に焦点をあて、スウェーデン国立美術館が管理する4万5000点ものグスタフスベリ・コレクションから厳選した約300点を展示。グスタフスベリの歴史と魅力をひもとく、日本で初めての展覧会です。1点ものの作品や日本・東洋文化から影響を受けた作品などもご覧いただける貴重な機会です。

スティグ・リンドベリ「ベション」
製作1960-1974年
スウェーデン国立美術館蔵
© Kooperativa Förbundet KF
Photo: Viktor Fordell / Nationalmuseum

左 リサ・ラーソン「スカンセン」よりトナカイ
製作1977-1992年
右 カーリン・ビョルクヴィスト「ルードカント」
クリーマー、BKモデル
製作1968-1970年
ともにスウェーデン国立美術館蔵
© Kooperativa Förbundet KF
Photo:Nationalmuseum

グスタフスベリの
ベストセラー

「ベション(Berså)」とは、東屋のような、緑で囲まれた庭の休憩所を意味する言葉。スウェーデンでは、そこで家族や友人達とお茶の時間「フィーカ(Fika)」を愉しみます。スウェーデン人の暮らしをイメージさせる、グスタフスベリを代表するデザインです。